

## 第16回 先端材料・技術研究会を開催して

これまで、熱可塑性複合材料研究会、炭素繊維成形・利用研究会、FRP 成形・利用に関する合同研究会を年3回、通算15回開催してきました。新年度からこれらを統合して研究会名を「先端材料・技術研究会」に変え、第16回目として、平成30年5月16日（水）に埼玉県産業技術総合センターで開催しました。研究会の参加人数は56名、技術交流会の参加人数は37名でした。プログラムと概要は次の通りです。さらに詳しく知りたい方は協会事務所で当日の原稿をお見せできます。

### ①埼玉県産業技術総合センター紹介と見学

- ・紹介 埼玉県産業技術総合センターの紹介（技術支援室長 関根 正裕氏）
- ・見学 評価試験・測定機器、分析機器、強度試験機器など、特に実物大のFRPの形状、ボイドの有無を測定できる設備が印象的であった。埼玉県内外の方に開放しているので、興味ある方は相談されることをお勧めする。

### ②大気圧プラズマによる熱可塑性樹脂の表面改質と接着・接合性の向上について

（富士機械製造株式会社 神藤 高広氏）

FRPの表面改質をして、同種又は異種材料との接着力を向上させることができる。

### ③竹繊維を応用して強化した熱可塑性樹脂について（東京大学農学部 佐野 孝志氏）

ポリプロピレン樹脂の力学特性が著しく向上する期待がある。

### ④熱可塑性樹脂添加剤モスハイジについて（宇部マテリアルズ株式会社 渡辺 高行氏）

細くてアスペクト比の大きなモスハイジ（塩基性硫酸マグネシウム）は取扱い上安全で、成形しやすく、かつポリプロピレン樹脂の力学特性が向上する期待がある。

### ⑤自動車の軽量化へのFRTPの期待（安田ポリマーリサーチ研究所 安田 武夫氏）

熱可塑性樹脂複合材料の将来動向を広く解説頂いた。



研究会の風景



技術交流会参加者